

市長・教育委員長の施政方針等 演述に対する質問

Q & A

【抜粋】

質問 副市長の人事案件は、議会において否決されましたが、その重要性をどのように考えておられるのか伺います。

答弁 副市長の役割、重要性は大きいものと考えます。今後、十分検討し、議会の同意が得られるよう努力してまいります。

質問 施政方針における、13の約束の具体性について伺います。

答弁 総体的に申し上げれば、地域自治の推進、市民役のまちづくり、産業の振興、ひとつぐりを含めた教育の充実、医療福祉の向上等を基本に施策を進めてまいります。

質問 土地開発公社、岩手競馬、総合水沢病院の経営改善の方針を伺います。

答弁 市民に痛みを伴わない方向で、解決のための道筋をつける努力をしてまいります。

質問 競馬事業については、収支均衡をはかる経営では破綻すると思われる故、抜本的に考える必要があると思われませんが市長の所見を伺います。

答弁 経費削減をはかりつつ事業を行うていますが、県、盛岡市との協議の必要性は何かを、多面的にとらえ、また、どのようなことが考えられるのかを踏まえて検討してまいります。

質問 施政方針の中で、多くの決意表明がされておりますが、その所信の一端を伺います。

答弁 市民の幸せ、または福祉向上のため、議会の意見を尊重し、不退転の決意をもって行政運営に対処してまいります。

質問 企業、環境産業、農業振興の方策について伺います。

答弁 基幹産業は農業であり、農業を守ることは、市の発展につながるものと考えます。農商工連携事業、または環境産業等を支援し、新たな産業、ビジネスをつくる施策を充実してまいります。

質問 統合された消防団の望ましいあり方、また整備方針について伺います。

答弁 安心安全のまちづくりのため分団、部の再編を含め、行政として整備等の支援の検討をしてま

います。

質問 合併後、4年経過いたしました。合併時に、協議締結された合併協定をどのように考えておられるか伺います。

答弁 合併協定を基本に行政運営を進めます。しかし、4年経過した中で、協議が必要な場合、議会と相談の上、検討してまいります。

質問 「みんなで創る自立したまちづくり」とありますが、市民に対してその内容をどういう形で周知し協力を求めていく考えか伺います。

答弁 行政からの一方的な説明や周知の方法ではなく、ともに地域の課題を考えられるような、住民に関心もたれるような仕組みづくりを考えていきます。

質問 農業振興の中で、新しいブランドづくりについてどのような考え方で進めていくのか伺います。

答弁 米粉の商品化や、これに伴うパッケージのデザインを岩手大学に検討を委託したいと考えています。さらに、江刺りんごのワインやカクテルの商品化を考えています。

質問 市長は、「変えよう奥州 変わろう奥州」というスローガンを前面に出していますが、何をどう変えようとしているのか伺います。

す。

答弁 市民との協働のあり方を全面的に変えていきます。行政が主で市民が従というところから抜け出し、職員の対応も含め根本的に変え、市民目線に立ったまちづくりを進めます。住民参加によるまちづくりにおいては、地域の特性にあつた対応をしていく考えであります。さらに、地域医療を安定的に持続していける体制づくりや方向性を示していきたいと考えています。

質問 市長が考える健全財政とはどういうことか伺います。

答弁 4年間ですべてを解決するのは不可能なことです。決して先送りではなくその方向性を組み立てていくことが必要であります。合併特例がなくなってもきちんと運営できる体制をつくることが大切だと考えます。

質問 東北農政局の事務所が本市に設置されるということですが、このことへの認識をどのようにとらえているのか伺います。

答弁 農業振興をはかる上で、人や情報が集まるといふ立地的なメリットを享受できるものと思えます。県南地域の農業発展へのセンタリー的な役割を果たしていければと思います。